

**製品名: IGFBP7 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12433**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	IGFBP7 IGFBP7; MAC25; PSF; Insulin-like growth factor-binding protein 7; IBP-7; IGF-binding protein 7; IGFBP-7; IGFBP-rP1; MAC25 protein; PGI2-stimulating factor; Prostacyclin-stimulating factor; Tumor-derived adhesion factor; TAF
別名	
遺伝子 ID	3490.0
SwissProt ID	Q16270
免疫原	抗血清はヒト IBP7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 191-240

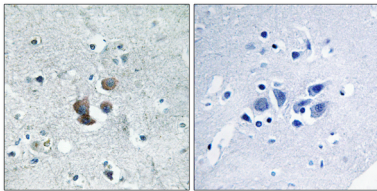
**背景**

この遺伝子は、インスリン様成長因子 (IGF) 結合タンパク質 (IGFBP) ファミリーのメンバーをコードしています。IGFBP は IGF に高親和性で結合し、体液および組織における IGF の利用可能性を調節し、IGF の受容体への結合を調節します。このタンパク質は IGF-I および IGF-II に比較的低い親和性で結合し、低親和性 IGFBP のサブファミリーに属します。また、プロスタサイクリン産生および細胞接着を刺激します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが記載されており、そのうちの1つのバリエーションは網膜動脈瘤 (PMID: 21835307) と関連付けられています。[RefSeq 提供、2011年12月]、機能: IGF-I および IGF-II に比較的低い親和性で結合します。プロスタサイクリン (PGI2) 産生を刺激します。細胞接着を刺激します。PTM:N-グリコシル化されています。類似性:1つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。類似性:1つの IGFBP N 末端ドメインを含みます。類似性:1つの Kazal 様ドメインを含みます。サブユニット:VPS24/CHMP3 と相互作用する可能性があります、そのような相互作用の関連性は不明です。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



IBP7 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。